

【編集後記】

本誌は、立教大学日本学研究所の活動とその成果の発信を目的とする研究紀要である。

二〇一六年度、日本学研究所は公開シンポジウム「近代東アジアにおける怪異と社会 テクスト・文化・自然環境」を主催したのをはじめ、国際シンポジウム「戦後の東アジアにおける日本語文学——移動・交流・支配——」を共催し、多くの研究員が中心的なメンバーとして活動した。また、研究例会「第二回 海外の日本文化研究——その動向と可能性——」、「〈3・11〉後の表現を考える——演劇・サブカルチャー・文学・ドラマ——」、「近代東アジアにおける術数文化の伝播・展開——日本と朝鮮半島を中心として——」など、多彩なテーマでの研究活動に取り組み、国内外の幅広い研究者との交流を重ねている。本誌では概略を示すに留めているが、各企画の成果は、今後、論文などのかたちで報告されるはずである。

本誌には文学、歴史、言語に関する七編の自由投稿論文を掲載することができた。ご寄稿くださった方々に心よりお礼申し上げますとともに、次号での更なる充実を誓いたいと思う。

私は、本年度はじめて編集担当となり、試行錯誤しながら仕事を進めてきたが、相見積もりによる印刷会社の変更によって作業が精確かつ迅速になり、殆どストレスを感じることがなかった。当初は予算不足のため校正に充分な時間を取るの難しいと考えていたが、印刷会社の適切な対応によって著者校正をさせていただくこともできた。この点に関して、本誌の印刷を引き受けてくださった城島印刷には心から感謝申し上げたい。

今年度より日本学研究所の事務局には新たな担当者としてNさんが入り、印刷会社との遣り取りなどで絶大な力を発揮してくれた。本誌が予定通り発行できたのはひとえにNさんのおかげである。

(I)

立教大学日本学研究所年報 第十六号

二〇一七年七月二十五日印刷

二〇一七年七月三十一日発行

編集・発行 立教大学日本学研究所

東京都豊島区西池袋三ー三四ー一

一 二 号 館 二 階 B 二 〇 五

TEL/FAX: 〇三ー三九八五ー二六一七

E-mail: nihongaku@rikkyo.ac.jp

発行人 佐藤雄基

印刷 城島印刷株式会社